

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和 7年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	学校法人同志社 理事長 八田 英二
	電話番号：075-251-3006

環境マネジメントシステムの名称	KES・環境マネジメントシステム・スタンダード（ステップ1）
適用範囲	同志社大学今出川校地、同志社大学京田辺校地
導入年月日	平成31年3月1日、令和7年3月1日更新
認証番号	KES1-1482, KES1-1483
基本方針	令和6年10月に同志社大学において「同志社大学カーボンニュートラルロードマップ」を制定し、2050年度までに2013年度比で温室効果ガスを100%削減する目標を掲げて、活動に取り組んでいる。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	環境改善目標（中長期） (1)省エネルギー：エネルギー使用量の削減（二酸化炭素排出量換算）3%減 (2)省資源：古紙リサイクル率の維持改善（古紙リサイクル量/古紙リサイクル量+一般廃棄物排出量）古紙リサイクル率 60.0%以上（今出川）・40.0%以上（京田辺）向上 (3)啓発活動：学生への環境に係わる取組の周知・要請 計年7300人
目標を達成するための取組の内容	(1)省エネルギー：照明のLED化、空調設備の更新、エアコン温度・運転の適正管理、不必要な電灯の消灯 (2)省資源：ごみ箱への分別方法掲示、分別の徹底、シュレッダーの活用、校地内ごみ箱の拠点化 (3)啓発活動：掲示・パンフレット配付
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー、省資源、啓発活動ともに、取組は概ね計画どおり進捗している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2024年度は例年より気温が高い期間が長く、消費エネルギーは若干増加したものの、省エネルギー・省資源の項目は、ともにコロナ禍以前の数値と比べても減少傾向にあり、順調に成果を上げている。啓発活動については、啓発パンフレットを計画どおりの冊数を配布し、継続した取組ができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境マネジメントシステムを継続し、法令は遵守できている状況である。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	同志社大学での環境マネジメント推進委員会の設置や、カーボンニュートラルロードマップの作成など、新たな取り組みを評価いただいている。また、概ね目標を達成しているため、環境マネジメントシステムの見直しは不要と考えている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。